

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室ハニカム		
○保護者評価実施期間	令和8年 5月1日		～ 令和8年 5月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	令和8年 5月1日		～ 令和8年 5月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカー療育を行っており独自性がある。	様々な視点から運動プログラムを作成し、利用者の特性や得意不得意に合わせてサポートする方法を変えている。	年齢・発達度合いに合わせた活動の差別化ができているとよい
2	教室が二つに分かれている。	遊びと勉強のすべを完全に分けることで課題に集中して取り組むことができる。	何をやるスペースなのかどこに何を置けば視覚的に全員がわかりやすいようにする。
3	送迎範囲が広く時間の希望も午前からの利用も保護者のニーズに寄り添っている。	送迎はチェックシートを用いて安全、忘れ物等職員が常に意識できるようにしている	利用者の人数が増えてきたためドライバーを充実させる必要がある

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	遊ぶおもちゃが低年齢に向けたものが多い	開所当初は低年齢の利用者が多かったが徐々に高学年の利用が増えて来たが高学年に対しての設備が整っていない	利用者の意見を取り入れながら高学年も楽しめるおもちゃを増やしていく
2	教室で遊べるスペースが利用者のスペースに対して十分でない	限られたスペースの中でサッカーなど体を動かしたい、静かに座って遊びたいなど利用者によってニーズが異なる	宿題スペースの確保、時間を区切って活動内容を変える等の取り組みを行っている
3			

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室 オレンジ

公表日 令和8年5月27日

利用児童数 26

回収数 14

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12			2		安全に考慮した上で、活動に十分なスペースを確保しております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1		8		運営上で必要な配置基準を満たしております。もし当日に急な欠勤があった場合での対応できるよう余裕をもって配置しています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2		3		引き続きどの学年の児童にもわかりやすい配慮を心掛け環境整備を行ってまいります。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	2		3		児童の受け入れ前と受け入れた後に教室内の清掃と安全確認を行っております。	
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	3		1	言葉の表現をスキルアップするのは難しい課題なので	もっと保護者のニーズに合わせた支援計画を設計することに努めています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	2			年齢がずれているのでその分のずれはあります	年齢に合った取り組みをできるよう職員のスキルアップに努めます。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14					保護者の方やお子様のニーズを聞き取りより充実した支援計画の作成をいたします。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13				1	よく考えて文章を作成してもらっています。	これからも継続して取り組みます
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13				1		日々のミーティングや振り返りを実施しより充実した支援を提供してまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12				2		それぞれの状況によって臨機応変に対応し固定化されないように工夫いたします。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	1	8			今後の課題として地域の子どもと接する機会を設けるようにいたします。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	1				保護者の方からの質問を受けながら丁寧に説明してまいります。	
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13			1		引き続き面談の際に丁寧な説明を心掛けます。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	2	8		相談がある場合は個別に対応しておりますので今後、情報提供の機会を作ってまいります。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13			1		送迎の際の保護者とのコミュニケーションでもこどもの様子を共有している	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1		1		可能な限り丁寧かつ早急に対応することを心掛けています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10	1		3			
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	2	7	4	されていないが、望んでいません	現在そのような機会を設けておりませんが、要望がありましたら検討いたします。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			4		迅速かつ適切な対応を心掛けております。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13					お子様の教室での様子が可能な限り細かく報告するようにしております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	10	1		3		ホームページやブログを使い、活動の様子を発信しております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1		2		鍵付きの書庫で保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	1	1	5		地震、火災、津波等の災害を想定し定期的に避難訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4			10		地震、火災、津波等の災害を想定し定期的に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10			4		お預かりする児童の安全の確保は最優先に考えております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	1		2		速やかに保護者への連絡を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	1				あの子が怖いといったことが起きた際分かり合えるように大人が間に入って解決をしています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1		1	反抗期で難しい年ごろなどで	もっと通いやすい環境作りを心掛けていきます
	29	事業所の支援に満足していますか。	13			1		

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室 ハニカム		公表日：令和8年5月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	1	来所時間で前半と後半で活動を分けて余裕をもって落ち着いて支援できるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	4		時間によって職員の数が少ないと感じている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	子どもたちが安心して過ごせるように生活空間を分けています。	個々の特性や宿題などの状況に合わせた環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	活動内容に合わせて、身体を動かす空間、静かに過ごす空間などに分けて環境作りをしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	宿題をする場所支援をする時間を分けて集中できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	目標設定から振り返りまで職員全体で共有しできるだけ関与していける体制を作っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	5	第三者委員会は行っておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内の別事業所との情報共有を行っている	基礎的な研修があるととても良い
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	アセスメントの結果をもとにし、ガイドラインに沿った適切な支援プログラムを作成して保護者と共有している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	子どもと保護者のニーズや課題を詳細に分析し個別のサービス計画書を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児童発達支援管理責任者中心に指導員間で意見を出し合ったのち計画書を作成している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	「放課後等デイサービスの提供すべき支援」に基づき、子どもと家族のニーズに合わせた支援項目を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	指導員が中心となりプログラムを教室全体で作成している。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	同じプログラムが2か月かぶらないようにしており、複数の職員が様々な角度からのプログラムを考案している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	子ども一人一人のニーズや状況に応じて個別との集団の活動をバランスよく組み合わせた支援計画を作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	その日の担当職員が指導案を作成し全職員が周知できるようにしている	書面での共有が主なのでリハーサルしてもよいかもしれない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	各支援ごとに記録を残し、子どもたちの状況や支援の効果を把握している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	保護者との定期的なモニタリングをおこない子どもたちの成長や変化に応じて指導計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0	放課後等デイサービスガイドラインに基づき、基本的活動を効果的に組み合わせ、バランスの取れた支援を提供している	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	子どもたちが自分で選択し決定する場面を設けることで自己決定力や責任感を育てている。		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	学校との間で年間行事や行事予定を保護者を通して共有し、送迎トラブルが起きないように取り組んでいる。	送迎時だけでなく定期的に面談時間を設けて情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	4	現在該当者なし	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	機会が今のところないが必要に応じておこなう。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	5	現在は参加していない。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	定期的な面談に加え連絡帳やフィードバックにて子どもの発達状況に関する情報共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時や変更があった際に随時保護者に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	個別面談やアセスメントを通じて、子どもや保護者の意向やニーズを確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	具体的な支援内容や計画を文章化し、保護者と共有している。面談をおこない計画内容の説明をして、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	すぐに職員間での情報共有を行い支援に取り掛かっている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	1	5	ニーズが少ないため実施機会を今のところ設けていない。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情対応の窓口を設置しており、迅速な対応を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ブログの更新を継続的に行い、定期的にお便りの配布を行っている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	適切な個人情報の取り扱い方について職員間で共有している。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	6	現在は行っていない	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	各マニュアルを策定後職員や保護者との共有を行い、定期的に研修・訓練を行っている。	契約時にマニュアルを伝えるとともに変更があれば保護者の方に周知しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	2	BCPを策定し非常災害に備えた訓練を定期的に行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	1	契約時に詳細を確認し適切な対応に努めている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	食物アレルギーの対応については医師の指示に基づき保護者へ確認したうえで適切な対策を講じている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	安全管理のための研修や訓練を実施しており、日々の安全な環境で支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	安全計画や取り組み内容について、保護者への周知を行っている。職員間でも研修やミーティングを通して周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	該当する出来事が起きた際は速やかに職員間で共有し対策案を職員で再発防止案を検討している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	定期的に虐待防止研修を実施しており、職員間での意識の向上を図っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の研修を通して職員間での身体拘束への共通認識を持都ように取り組んでいる。保護者への説明は個別面談を通じて教室の身体拘束の方針を説明している。		